

014

# 物流システム設計

## 人材育成上の課題・目標

- ・ 自社物流コストの分析結果からコスト削減を図りたい
- ・ 物流システム導入を考えているがその手順を知りたい
- ・ 物流システムの最新動向を知りたい
- ・ 売上最大化戦略を目指したシステム開発の動向を知りたい



## 課題解決・目標達成を目指して

- ・ 物流コスト管理方法を理解する
- ・ 物流システム設計の手法を理解する
- ・ I Cタグを活用した物流システムの管理の実際を知る
- ・ 物流システムを用いた効率的な物流業務（倉庫・在庫管理）を知る

## コースのねらい

物流の生産性向上とコスト管理を理解し、物流システムの設計に関する知識・技能を習得する。

## カリキュラム（例）

|      | 基本項目             | 主な内容（例）  |
|------|------------------|--|
| 基本要素 | ■ 物流の生産性向上とコスト管理 | ・ 物流コストと標準化<br>・ 物流の生産性向上  |
|      | ■ 物流システム設計       | ・ 物流システム設計の概要<br>・ 物流システム設計の手法   |
|      | 演習（例）            | ・ 課題を用いた物流システム設計演習<br>・ 生産性向上に向けた物流の改善グループ演習<br>・ 自社における配送計画の作成              |
|      | 応用・実践要素（例）       | ・ 物流センターの設備設計<br>・ I Cタグを活用した物流システムの管理の実際<br>・ 物流システムを用いた物流業務の効率化（倉庫管理、在庫管理） |

## 日程設定と受講料（例）

- (1) 1日（6時間）コース  
3,300円（税込）
- (2) 2日間（12時間）コース  
5,500円（税込）

- ※ 金額は、1名あたりの受講料です。
- ※ 6～30時間の間で設定可能です。

## 推奨対象者

中堅層

## 関連コース

- A 生産管理
  - ・ 在庫管理システムの導入
  - ・ 購買・仕入れのコスト削減
- A 流通・物流
  - ・ 3PLとSCM
  - ・ 物流のIT化
  - ・ 物流システム設計
  - ・ SCMの現状と将来展望
- A バックオフィス
  - ・ 企業価値を上げるための財務管理

※ 基本項目は必須としますが、主な内容や演習、応用・実践要素は、ご要望に応じてカスタマイズすることが可能です。なお、訓練時間によっては、上記の全ての内容を実施できるものではありません。